

「青森駅自由通路に関するワークショップ」

参加された皆様からのご意見

4

班

H28.7.31／H28.8.11

柳川庁舎2F大会議室

自由通路(駅舎)のデザイン(イメージ)について

街の文化と歴史のにおいが感じられる「街の顔」となるようにする(青森のイメージが感じられる)

歩いて楽しくなる通路、移動することが楽しい通路(細いところをあえてつくる)

連絡船とつながっていたことを思い出すイメージを残したい

ベイブリッジ、ワ・ラッセ、A-Factoryとの調和

青森の「過去と未来」を結ぶ

今の通路(素材など)を残す

発展性のあるデザイン、未来をつなぐデザイン(シンプルなデザインで後から使用方法を考える)

窓の工夫

- ・海が見える北の駅(海が近いというメリットをうまく使う、景色が見える、海を見ながら待てる)
- ・窓を大きめに(景観を重要視:海が見える駅舎・通路)
- ・海・八甲田山・岩木山が見えるスポットを窓にする
- ・のぞき窓の設置(出迎いの窓・見送りの窓)
- ・窓をハート型にする(素材・窓が一緒はつまらない)
- ・景色の見えるガラス面(光を多く取り入れる:空が見える)
- ・雪が見える通路(照明で雪をライトアップ)
- ・観光資源になる建築(海が見える通路)

自由通路・駅舎の仕上げや内部装飾を伝統工芸など市民参加により行う

自由通通路の機能

ハード整備

十分な待合室

バリアフリー、人(高齢者の方)が座って休める空間(改札を出て一息つける場所)

トイレ(特に女性用トイレの数)の充実

情報提供機能(ねぶたの展示、ポスター、バナー)

Wi-Fiの整備

防犯カメラの設置

青森らしさが見える(陸奥湾を眺める特等席、鉄道マニアにもウケる席、望遠鏡の設置)

集える場所(皆が座って語れるスペース)

イベントをするスペースの確保(ポケットゾーンなど)

暖房の整備(冬寒くない環境)

自転車で通れる(歩行者との棲み分け:通路の真中にパーテーションの設置)

ソフト施策

歩くとカロリー消費がわかる(冬の歩きやすさ:ウォーキング)

情報案内・デジタルサイネージ(付近のコンビニ、市営バスの情報、縄文遺跡世界遺産を目指す取組など)

メッセージ有料コーナー(誕生日など)

ゴミ箱の設置(利用者モラルの問題)

Suica等ICカード対応、通路内にも券売機を

自由通路の利活用

連絡船当時のものを展示(当時担いでいた荷物の見本展示や背負い体験など)

窓から見える風景の昔の写真展示

青森の歴史を見せる(現在展示している写真が懐かしい、市民がまだまだ知らない)

アート(あおもりゆかりの作家たち、子どもたちが作ったもの、あおもりでがんばっている人の作品)展示

壁面を季節に合わせたギャラリーとして活用

市民活動(アートや音楽)のイベントの場

普段の居場所(学生市民が愛着を持つ、持ち続ける仕掛け)

橋上の市場、カフェ、マルシェなど(ポップアップ仮設のショップ)の実施

市民の申し込みで日替わりで出せるスイーツワゴンの配置

土、日、祝日等に自由通路でのフリーマーケット等の開催

おもてなし人・ガイドの配置

いくべえ、さんまるくんなど日替わりキャラを置いてフォトスポットとする

告白スポット、若者の出会いを生むような仕掛けづくり

植物(カシス・りんご)の設置→青森らしさ

まちづくりとの連携と市民の参加

通路や掲示板のルールづくりや管理主体づくり、安全安心づくり(誰が行うか:組織の明確化)

学生や商店街をはじめ様々な職種の人が参加する市民団体などを組織しての継続的な活動

(通路の清掃活動や1年を通したイベントの実施)

各(公共や民間)施設や市民とコラボ、ボランティアを組織

専門家も加わった事務局を組織(柔軟性と実務能力のある組織:定期的会議を実施)

伝言板や掲示板などの設置による情報提供や情報ボックスを設置してのイベント募集

企業協賛や市民ファンドによる活動資金の確保

エリアマネジメント(広告事業)、官民連携によるまちづくり

ミニネーミングライツ

自由通路の使い方や名称を公募などで行う

中心市街地活性化基本計画に連動した利活用

その他(周辺との連携等)

西口に出て時間がつぶせる(Aー factory前の様な雰囲気)

東西バル街、西口側・東口側広場を活用したイベント、西口・東口店舗で行えるスタンプラリー

西口商店街の(イベント情報、案内板)地図、お店紹介

周辺も含めた整備が必要(自転車置き場、動線など)

西口にバスプール(西口開発)

西口は雪を気にせずにいられる場所にする

都市施設が出来ることを見据えて広場を作る＝通路＋広場

自由通路東口出入口でのポケットパークの整備

八甲田丸への連続

コストを掛けない最良の方法を議論する(必要なものにはお金を掛けて、そうでないものは節約する)